

# 栗原市中核機能地域の整備の基本構想 <<概要版>>

平成31年3月 発行 栗原市 編集 栗原市企画課

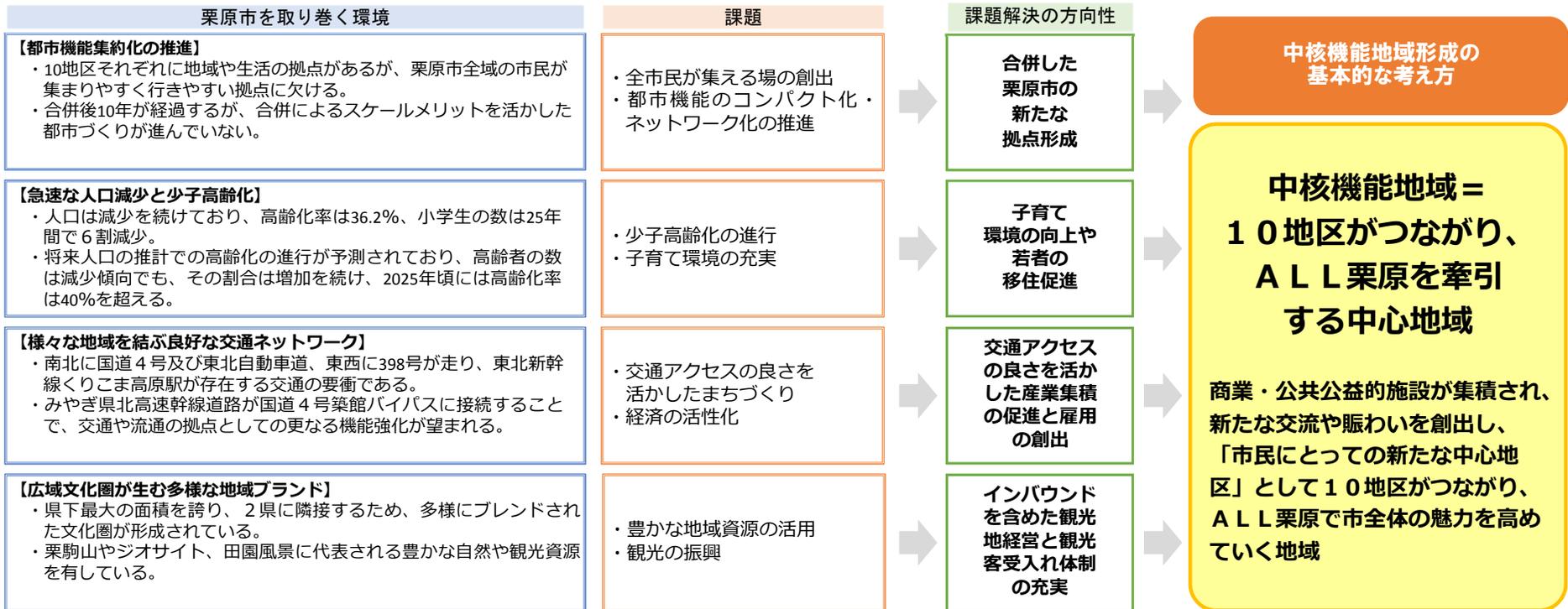
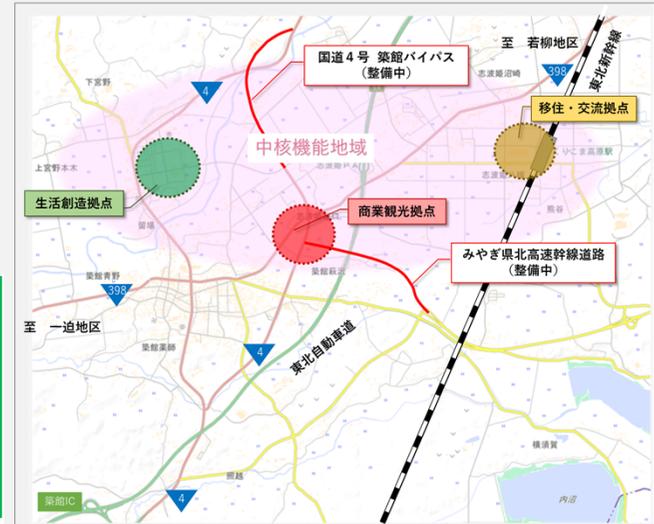
## 【構想策定の目的】

栗原市では、急速な少子高齢化と人口減少が続く中で、国道4号築館バイパスやみやぎ県北高速幹線道路の延伸など、高速交通体系が大きく変化しています。こうした市を取り巻く状況に対応するためには、市のへそとなる真に中核的な機能が集約されたエリアを設定し、開発することが重要であると考えます。

東北新幹線くりこま高原駅周辺から築館宮野地区までの地域は、国道4号築館バイパスや、みやぎ県北高速幹線道路など高速交通網の結節点となるエリアであり、新たな交流やにぎわいを創出する拠点として今後まちづくりを進めていく上で、市の核となる重要な場所であると考え、第2次栗原市総合計画及び第2次栗原市国土利用計画（平成29年3月）において「中核機能地域」として位置付けています。

本構想は、これらのエリアの現状・課題を把握し、「中核機能地域」のコンセプトや導入機能、土地利用等を検討し、今後の整備の方向性を示すことを目的に策定します。

- 拠点1 生活創造拠点** : 栗原中央病院や生活施設、公的施設などの都市機能が集約する地域として、市民生活の質を高める拠点とします。
- 拠点2 商業観光拠点** : みやぎ県北高速幹線道路と国道4号築館バイパス交差点周辺を、交通の要衝であることを活かした、商業や観光の活性化を図る拠点とします。
- 拠点3 移住・交流拠点** : 市の玄関口であるくりこま高原駅周辺を、移住の促進や市民と来訪者が交流を楽しむ拠点とします。



# 中核機能地域内における各拠点のコンセプト

## 生活創造拠点（栗原中央病院周辺）

市民の自由な発想により創り上げる、  
10地区すべての市民が集えるエリア

中核機能地域における既設の都市機能を補完し、市民の暮らしの安全の維持向上と、「多地域と多世代の交流」をテーマにした暮らしの質の向上のために『生活創造拠点』を形成します。

### 【想定する利用者】

- ・全市民

### 【拠点の形成イメージ】

- ・栗原の豊かな自然を活かした自由度の高い公園で子どもたちの創造性を育める。
- ・シンプルで創造性を生む空間設計。
- ・サークル活動が小さな生業を市民が持ち寄り発揮できる場。
- ・『ALL栗原』の象徴として10地区すべてが集える場。

### 【導入機能】

広場・公園機能  
多世代多地域交流機能・子育て支援機能  
防災機能 等

### 【利用イメージ】

- ・小中学生や高校生、その他市内の若者は、多目的広場で自転車遊びやサッカーなど、広い空間を利用した様々な遊びが楽しめます。
- ・自由に遊具を設置したり、泥遊びやBBQができる広場など、子育て世帯をはじめとし、自由な発想で、遊びを楽しむことができる広々とした環境を整備します。
- ・子どもから高齢者までの多世代交流による植栽活動等が行われ、市民が歩きたくなるようなフラワーガーデンを形成します。
- ・ウォーキングコースや広大な広場で、健康づくりを目的とした方々が、のびのびと活動できる環境を整備します。



## 商業観光拠点（みやぎ県北高速幹線道路と国道4号築館バイパス交差点周辺）

地元の素材を活かし、  
すべての来訪者が楽しめる商業観光エリア

将来的なポテンシャルを活かし、産業振興に向けた『商業観光拠点』として位置づけ、観光や商業の活性化、雇用の創出の拠点としての役割を担っていきます。

### 【想定する利用者】

- ・全市民・観光客・ビジネス客

### 【拠点の形成イメージ】

- ・地元ならではの食材や旬の素材を活かした商品を販売できる。
- ・市民のチャレンジを創出し、経済効果や活気を生み出す場。
- ・大人から子どもまでが滞在して楽しめる場。
- ・『ALL栗原』の象徴として市民、来訪者が集える場。

### 【導入機能】

産業振興機能、休憩施設機能  
情報発信機能、交通アクセス機能、  
コミュニティ機能 等

### 【利用イメージ】

- ・市内の食材に加え、広域から集めた特産品も含め、様々な品・情報を取りそろえ、観光客だけでなく、市民も買い物を楽しめる環境を整備します。
- ・休憩のためのオープンスペースやフードコートがあり、多くの道路利用者が休憩時間を楽しめる環境を整備します。
- ・交通アクセス接続機能を兼ね備え、市内各地から訪れる市民の足を確保できる交通接続拠点とします。
- ・高齢者が集まるとともに、コミュニティ活動と連携し、高齢者が元気に活動できる空間を形成します。



## 移住・交流拠点（くりこま高原駅周辺）

市民と来訪者がともに滞在し、  
交流を楽しむエリア

元々の地区の特性と豊かな景観を活かし、市の玄関口として宿泊機能や飲食機能を高め、来訪者が少しでも長く滞在したくなる魅力ある交流の場の創出と、交流を契機とした移住を促進する住環境を創出します。

### 【想定する利用者】

- ・全市民・観光客・ビジネス客

### 【拠点の形成イメージ】

- ・栗原の豊かな自然を楽しめる居住空間。
- ・くりこま高原駅から近く、仙台圏へのアクセスも良好。二地域居住も可能なエリア。
- ・市民と観光客が空間を共にすることで交流が生まれ、新たな発想や活気を生み出す場。
- ・『ALL栗原』の玄関口となる場。

### 【導入機能】

交流促進機能、宿泊・飲食機能、居住機能 等

### 【利用イメージ】

- ・来訪者は、駅周辺施設やオープンスペースを回遊してもらい、栗原市内各地の情報を発信できる環境を整備します。
- ・ゲストハウスや飲食店等が立ち並ぶ交流拠点では、来訪者が地元民との交流を楽しめる環境を整備します。
- ・移住希望者が、通勤や買い物などに困ることなく、かつ農業や自然との触れ合いなど、農村のライフスタイルを楽しめる空間を形成します。

